未来を信じ、誠実に

帯広市長　**米沢　則寿**

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、市民の皆さまの平穏な生活を願いつつ、年頭のご挨拶を申し上げます。

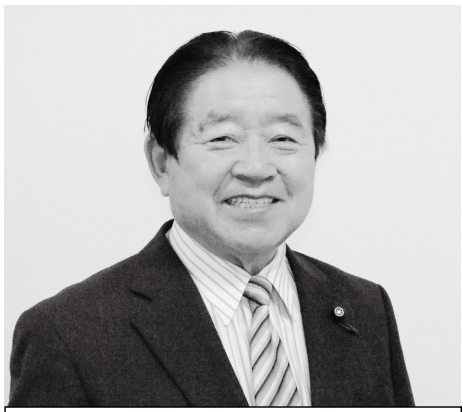
昨年来の感染症の流行に、私たちは人生の有限性や家族・パートナーの大切さを改めて実感させられました。私たちが生きるここ十勝・帯広の未来も、大きなパラダイムシフトを進めていかなければならないことを改めて認識しました。

コロナ禍の不安が広がる中、「共感力」こそが、社会を幸福に維持している力なのだということも再認識しました。私たちには、他者を哀れみ、想像し、思いやり、同情する「共感力」が備わっていて、そのおかげで心に深みを持つことができているのだと思います。

また、人口や経済機能が大都市に集中するリスクが浮き彫りとなり、地方分散型社会の実現が重視され始めました。今後、社会のデジタル化の進展などが拍車をかけ、地方移住が進むともいわれます。私たちが大切にしてきた食や農業、時間や空間のゆとりなど、大都市にはない強みをさらに発揮する好機です。

十勝・帯広が一世紀半の歴史の中で蓄えてきた、明日を信じ決して諦めない「開拓力」と、チーム・オベリベリの「共感力」は、これからの新しい時代への大きな力になります。

本年も、皆さまとともに、明るい未来を信じ、一歩ずつ誠実に進んでいきたいと思います。より一層のご理解とご協力をお願いし、ご挨拶といたします。



健康でいきいきと暮らせる帯広を目指して

帯広市議会議長　**有城　正憲**

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。帯広市議会では、新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな議論を本会議、委員会で行うことはもとより、市民のために必要となる支援を充実するよう市長に要望し、コロナ禍にあっても市民が安心して暮らすことができるよう取り組んでまいりました。いまだ終息の気配は見えませんが、一日も早く安心して生活できる日常に戻ることを切に願っております。

さて、議会改革の取り組みの一つとして設置した議員政策研究会において、新たに「食育」を政策課題として、市民の健康につながる条例制定のため調査、研究を進めております。農業を基幹産業とし、おいしい食材に恵まれた帯広市で、食生活の大切さを普及啓発することは非常に大事なことであると考えております。

本年の干支「丑年」は、子年にまいた種が芽を出す時期と言われています。新たに始めた取り組みが着実に進んでいくよう議会としての役割を果たすとともに、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの実現に向け、議員一同全力を尽くしてまいります。

本年も、皆さまにとりまして実りある年となりますことをご祈念し、新年のご挨拶といたします。

お正月は ばんえい十勝へ

1月2日から5日間連続開催

ばんえい十勝

問い合わせ　ばんえい振興課（西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825）

新年は1月2日(土)からレース開幕！

今年も1月2日(土)から6日(水)までの5日間連続で、ばんえい競馬を開催します。

ばん馬の体から立ち上る湯気と、音を立てて噴き出す真っ白な鼻息は真冬のばんえい競馬の醍醐味です。

お正月は、帯広競馬場でばん馬たちの力強い大迫力のレースを観戦しませんか。

正月大一番の重賞競走「帯広記念」と「天馬賞」

2日(土)は、ばんえい競馬を代表する人気馬が出走する伝統の高重量戦「農林水産大臣賞典第43回帯広記念」、3日(日)は、明け5歳最強馬決定戦「第14回天馬賞」と、トップホースが競い合うビッグレースが続きます。

開門・発走（予定）時刻

2日(土)・3日(日)	
開　門	10時頃
第1レース	11時頃発走
最終レース	17時15分頃発走
4日(月)～6日(水)	
開　門	12時頃
第1レース	13時頃発走
最終レース	19時頃発走

※開門時刻などは変更となる場合があります。

お正月の帯広競馬場について

帯広競馬場では、現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、競馬場内の換気を強化しています。帯広競馬場にお越しの際は、しっかりと防寒対策をした上でお越しください。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

年始開場の寒さ対策として、ばんえいオリジナルデザインのブランケットやカイロなどのプレゼント企画を準備中です。詳細が決まり次第、ばんえい十勝公式ホームページにてお知らせします。

ばんえい十勝　検索

昨年度の帯広記念

年末年始の帰省・旅行・初詣は3密にならないよう、時期の分散を!!

混雑する状況を避けられない場合は移動を控える、時期を分散させるなどの対策をとり、
年末年始も感染リスクが高まる場面を常に意識しながら、行動しましょう。

移動
- ●車内に家族だけでもマスクを着け、窓を開けてこまめに換気する
- ●混雑を避けるため、時間に余裕を持って行動する

滞在先
- ●一つの部屋に大勢が集まる時は、こまめに換気する
- ●家の中でも、こまめに手洗いや手指消毒を行う
- ●滞在先の感染状況を事前に確認する

食事
- ●大人数の時は、テーブルを分ける
- ●親しい間柄でも間隔を空けて座る
- ●団らんの時も、忘れずにマスクを着けてから会話する

問い合わせ　健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）

熱やせき、体のだるさなど風邪の症状が出ている場合は、かかりつけの病院か近くの医療機関に電話で相談してください。どこに相談すべきか迷う場合は、「北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター（FREE 0800・222・0018、毎日24時間、通話無料）」に相談してください。